

## ▼【取り組み紹介】 ネットワークづくり

### 協力することで新たな可能性が見つかる

多くの NPO やボランティア団体は、自団体の活動分野で専門性を高めながら活動しています。近年、新たなアイデアや多様な知見を交換する、または互いに協力し新たな取り組みにチャレンジするため、団体同士がネットワークを形成することが増えてきました。

今回は、環境分野のさまざまな団体が所属する古賀市のネットワーク「ぐりんぐりん古賀」の事務局を担う、特定非営利活動法人エコけん理事長の清水佳香さんにお話を伺いました。



#### 【団体紹介】 特定非営利活動法人エコけん

近隣の清掃工場の建設をきっかけに、身近な環境保全に関心を持ったメンバーで設立した団体。古賀清掃工場再生・展示棟（環境学習施設）や、市民活動支援セン

ター「つながりひろば」の運営を受託しています。高い公益性をもつ法人として認定された認定 NPO 法人です。（<http://www.npo-ecoken.sakura.ne.jp/>）

#### 【事例】 特定非営利活動法人エコけんの取り組み

### 相互作用を生むネットワークづくり

エコけんでは、ネットワークづくりが目的ではなく、つながる必要があるからネットワークをつくる、と考えています。例えば、「ぐりんぐりん古賀」の結成に取り組んだのは、複数の環境団体がつながりを望んでいたからです。そして、エコけんも古賀清掃工場再生・展示棟（環境学習施設）を行政や他団体と協力しながら運営している経験から、つながりの重要性を実感していました。

また、ネットワークはつくるよりも運営・維持が難しく、エコけんは事務局としてネットワーク内の調整やバランスをとることを意識しています。多様な人が関わるため、なかには役職や年齢による上下関係の感覚を持って活動に参加する人もいます。ボランティアは対等な横のつながりであることを根気強く伝え、意見を言ったら自分も行動する人になる雰囲気づくりをしています。

このようなネットワーク内の環境が定着すると、他団体の視点を学びあう相互作用が働くようになります。そして、団体や人が入れ替わりながらも、ネットワークとして活動を積み上げ進んでいくことが、ネットワーク活動の楽しさであり、醍醐味なのです。

#### 協働が自然に生まれる環境

ネットワークのなかには、現場の作業が得意な団体もいれば、広報や啓発が得意な団体もあります。それぞれの団体が得意なことを活かし、一緒に活動を実施できる団体同士の関係性が協働を生むことにつながります。また、ネットワークとして啓発することで各団体の活動を知ってもらえる機会も増え、モチベーションの向上にもつながっています。



▲昆虫調査の様子。各団体の取り組みを、ネットワーク所属の団体や個人が手伝います。



▲定例会の様子。互いにアイデアや知識を交換しながら、ネットワークとしての活動を積み上げます。

## ▼ 団体活動情報

### 《公園活用プロジェクト X》



【仲間募集中！】 毎週水曜日に活動中です。木工や、竹を使った工作と一緒に活動しませんか。

2011年発足以来、主に平成の森公園を保全する活動や地域の資源を活用し、子どもたちにモノづくりの魅力を伝え、生涯学習館の講座講師を務めるなどの活動をしている団体です。

桜丘にある通称「X館」で毎週水曜日に木工を楽しみ、畑を借りて野菜作りもしています。志免町の竹を切り出して行う町の「ミニ門松づくり」は、毎年恒例の人気講座となり、また子育て支援課の外遊び事業では、竹の水鉄砲や焼き芋の準備で活躍しました。さらに、中学校から出前講座を依頼されるなど、活動の場が広がっています。

「みんなで集まって、手を動かしながら話をする時間が大事。家にいるより、外で体を動かさんとね！」と、活動日は、メンバー同士の情報交換や共有ができる貴重な場となっています。

### 《志免町まちづくり住民協議会》



▲花見と歴史探訪の様子。宮若市犬鳴御別館跡にて

■志免町歴史再発見ウォークを開催します。志免町在住の親子が参加できるように企画中です。詳しくは、今秋お知らせします。

2000年に発足し、来年度20周年を迎えます。メンバーは22名。福祉、教育、防災など、日常生活に直結する諸問題について、自立と責任ある住民活動を通して、「志免町らしさのあるまちづくり」を目指し活動を続けています。今年度は町長や議員との懇談会や、町の歴史を知る歴史散歩を企画、実行してきました。

また、年4回の定例会以外の活動では、志免町をもっと知りたいという思いから、平成29年に第1回志免町歴史発見ウォークを開催しました。この活動は、長崎街道や唐津街道を訪ねる企画に発展しました。歴史に詳しいメンバーの小島さんを中心に、史跡を解説しながら巡ります。そのことで、志免町や近郊の歴史を知り、町を好きな人が増え、郷土愛が育めればと考えています。

#### 【活動のひろがり方】

「公園活用プロジェクト X」では、町内で認知度が上がり、木工や竹を活用した講座講師などに活躍の場が広がりました。

「志免町まちづくり住民協議会」では、志免町をもっと知りたいという思いから始まった企画が、自分たちも楽しみ、新たな会員獲得につ

ながる活動に発展していきました。

住民活動では、メンバーの高齢化や減少、興味や関心ごとが変わるなどの「団体内部の変化」が起こります。また、課題解決に進んだからこそ新たな課題に気づく「社会の変化による課題の解決や出現」を体験することもあるようです。変化の先に新たな可能性がみえました。